

## 清たんの耳・・・大島地区

1930年頃、清明地区は全体が山と川に囲われ田んぼが多くありました。南から上荒井・下荒井・江端など町の名前からわかるように、「水」に深くかかわり、江端川と朝六つ川が地区を縦断していました。

地区の北端は「玉の江」と言って、雨が続くと大きな沼のようになってしまいました。そこに突き出た小山が島のように見えたので「大島」と呼ばれたそうです。今では、大島山は削られて住宅地となっています。

松尾芭蕉もこの玉の江で句を詠みました。

「月見せよ 玉江の葦の刈らぬ先」

